

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名：救命救急/集中治療研修プログラム  
病院名：北海道医療センター

2. 診療科：救急科（救命救急センター・一般集中治療室）

3. コースの概要

留学期間中、救命救急センター（ICU、救命センター病棟、ER）、および一般集中治療室において、重症救急疾患を中心とした critical care 専門研修を行う。

4. 目標

ERにおける救急蘇生やショック診断・初期治療に始まり、術中術後管理から回復期に橋渡しするまでの「主治医」たる能力を養うことを目標とする。さらに一般集中治療室における intensive care、メディカルコントロール、災害医療研修なども研修可能である。

5. 取得手技

- ・標準的プログラム・ガイドラインに基づいた ERにおける重症救急疾患の診断と初療

- ・救命センターICUにおいて、人工呼吸や急性血液浄化法等の機械補助を含む critical care

※当施設は日本救急医学会および日本集中治療医学会専門医施設であるため、留学期間は専従期間として算定可能。集中治療専門医は1年の専門医施設勤務（12週の専従を含む）が必要であるため、その取得を目的とする場合は6カ月終了後に別途6ヶ月の研修が必要となる。6カ月でほぼ必要症例の経験が可能と思われる。なお、本プログラム責任者は日本集中治療医学会専門医研修プログラム委員会委員である

6. 研修期間：6ヶ月

7. 募集人数：1名

## 8. 診療科の実績

令和4年度実績

救命救急センター 救急搬送2,804件、救命センター入院数1,912人

## 9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 9名

(日本救急医学会専門医 9名、日本集中治療医学会 6名)

主として研修指導にあたる責任医師	七戸 康夫 、 碓 光司
// 診療経験年数	39年 、 31年

## 10. コンセプト

特定の領域に偏らず広く内因、外因性の救急疾患を経験することによって、複数診療科に関わる病態や、臓器不全に対する対処に精通することができる。当施設における研修の特徴は母体病院が32診療科を有することによるコンサルティングの容易さである。さらに他の救急医療施設には稀な、神経筋難病や結核、精神科身体合併症病棟を併設しているため、他の施設では受け入れられない種々な疾患に対応可能であり、多くの臨床経験が得られるのが強みとなっている。